

2024年11月11日

## お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

さつま日置農業協同組合

# I.取組状況

## 1 お客さまへの最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

### (1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3)】

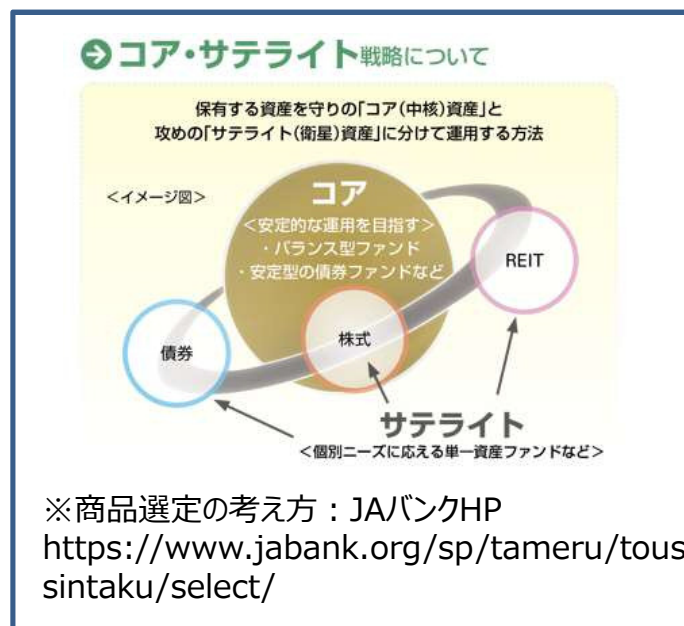
- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末:1)	6 (前年度末:3)
株式型	3 (前年度末:3)	5 (前年度末:5)
REIT型	2 (前年度末:2)	2 (前年度末:2)
バランス型	7 (前年度末:7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>



# I .取組状況

---

## 1 お客さまへの最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

### (2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

・当組合は、組合員・利用者「寄り添う」、「届ける」、「繋がる」の実践を通じて、より一層の信頼と期待に応えるため、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。

・市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。

# I.取組状況

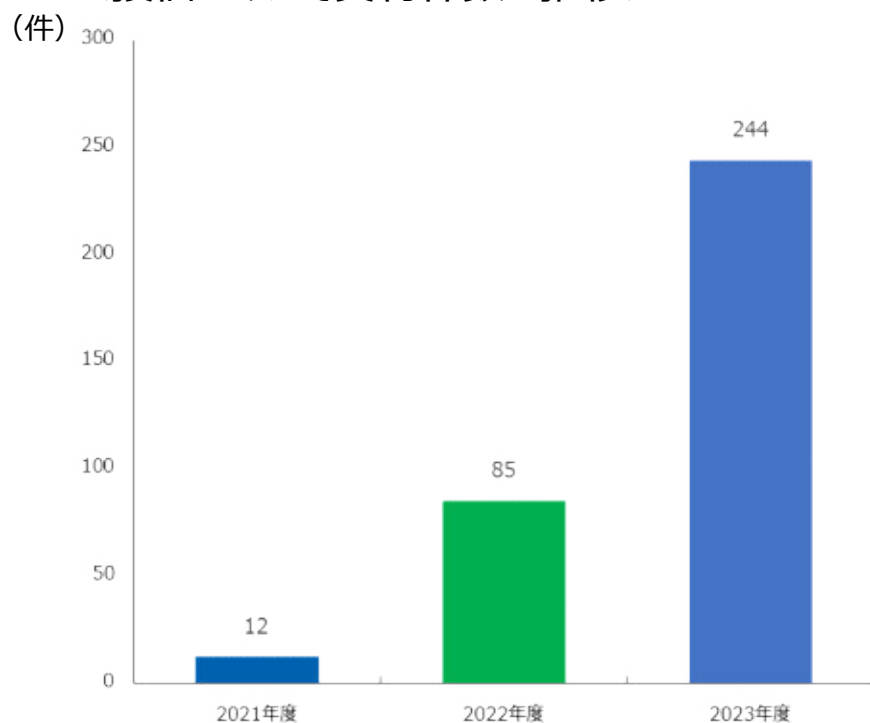
## 2 お客さま本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、  
原則6本文および(注1、2、4、5)】

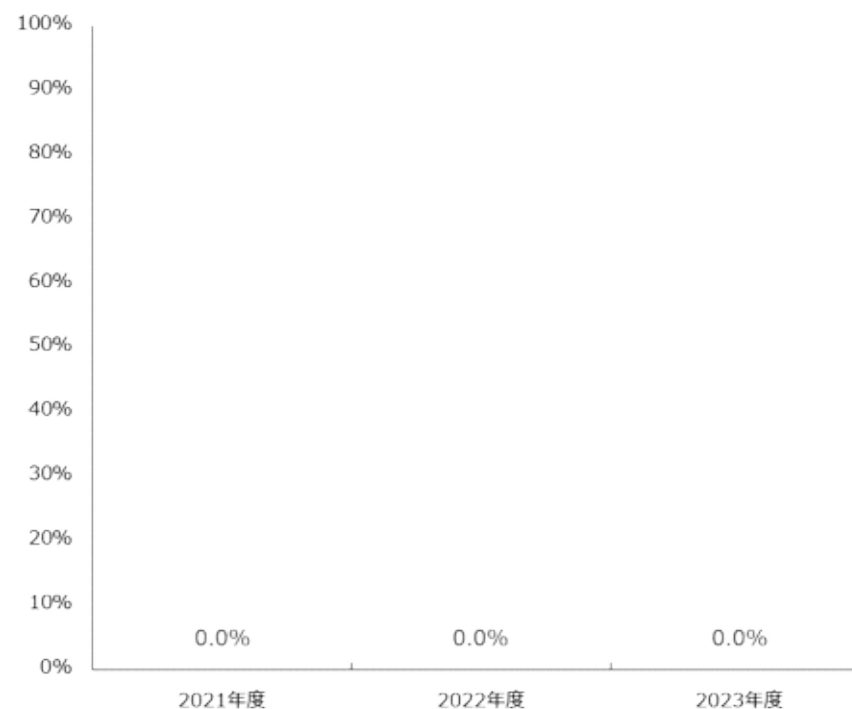
### (1) 信用の事業活動

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、お客さまから「毎月分配型ファンド」の選択はなく、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加しております。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



# I.取組状況

## 2 お客さま本位の提案と情報提供② (1) 信用の事業活動

【原則 2 本文および (注)、原則 4、原則 5 本文および(注 1～5)、原則 6 本文および (注 1、2、4、5)】

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

**JAバンクセレクトファンドマップ**

リスク・リターン: 小 ← → 大

タイプ: 安定型 (安定～中間) | 中間型 (中間～積極) | 積極型

資産種別: バランス, 債券, 株式, REIT

特徴: 左からリスクの小さい順番に並んでいるんだね! | 自分のスタイルにあったファンドが分かるね!

**コア・サテライト戦略について**

保有する資産を「コア(中核)資産」と「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法

**JAバンクのセレクトファンド**

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約 6,000 本の中から、JAバンクが独自の基準で長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準等

- 1 長期投資: 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料: 手数料が良心的な水準であること
- 3 運用実績: 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 得源性: 資産形成には、適度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
- 5 運用体制: 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

「投資信託開示書(交付目録見当)」のご請求、お申し込みは

# I.取組状況

## 2 お客さま本位の提案と情報提供③

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

### (2) 共済の事業活動

#### ①共済仕組み・サービスのご案内

- ・共済仕組み・サービスの提案にあたっては、3Q活動を通じて組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。
- ・組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に基づき、ライフプラン応じた最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。
- ・ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。

#### ②情報提供

- ・各種公的保険制度等にかかる情報提供を実施しております。

#### ③契約締結時の対応

- ・組合員・利用者の皆さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、分かりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）の実施を通じてご提案した共済仕組み・サービスが組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。

#### ④高齢者対応

- ・ご高齢の組合員・利用者の皆さまに対しては、より丁寧に分かりやすくご説明し、ご家族も含めて十分ご納得、ご満足いただけるよう、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど、きめ細かな対応を行っております。

なお、**ご契約**にあたり、共済掛金のほかに、お客さまにご負担いただく手数料はいただいておりません。



# I .取組状況

---

## 3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および(注)】

- 当組合は、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。

## 4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

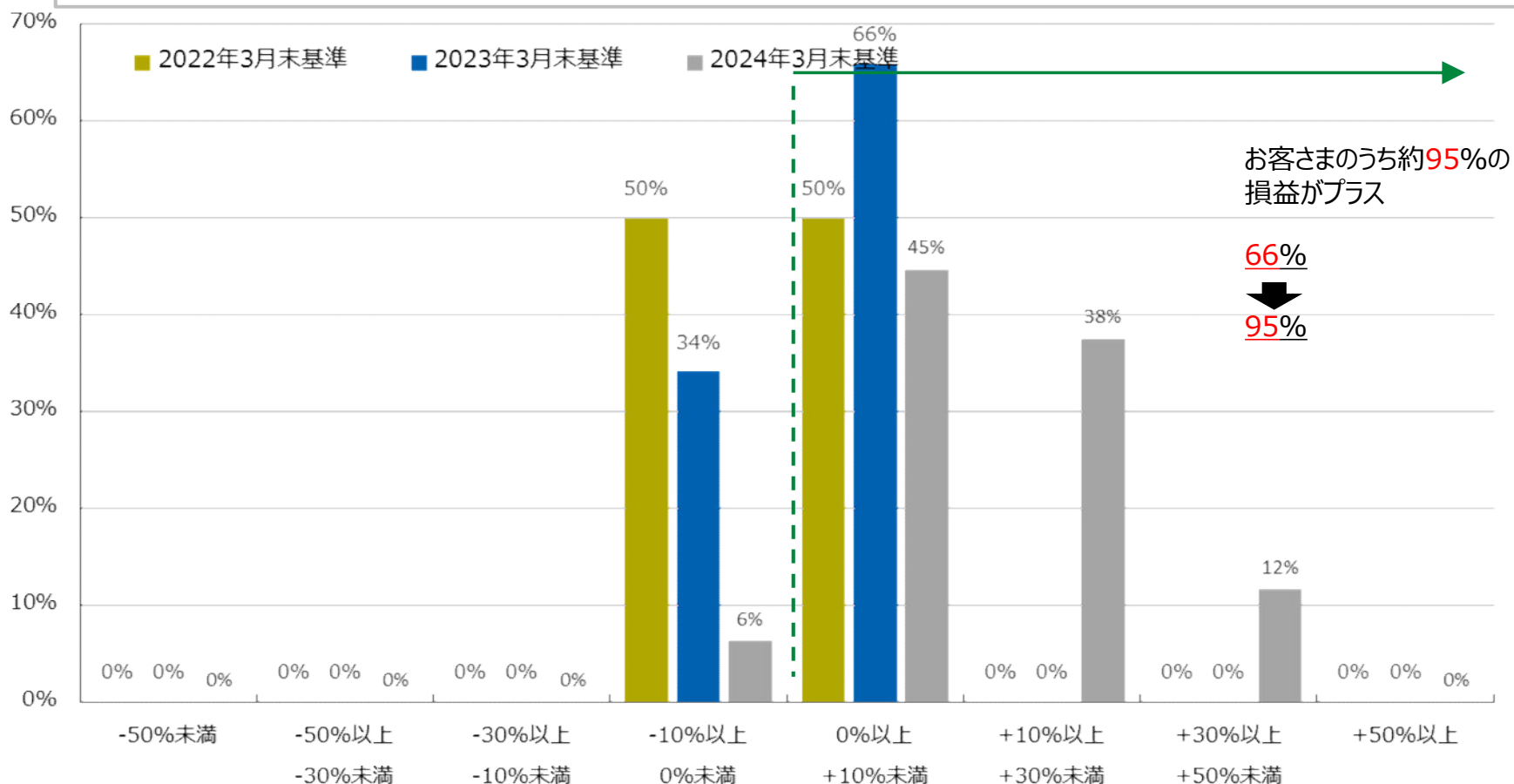
【原則2本文および(注)、原則6(注5) 原則7本文および(注)】

- 当組合は、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、各種研修や勉強会の実施、資格の取得を推進しております。

## Ⅱ.比較可能な共通KPI

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の約95%のお客さまの損益がプラスとなりました。
- 運用損益がマイナスとなっているお客様に対しては、外部環境やファンドの特性等に関して丁寧に説明するとともに、継続的にアフターフォローを適切に実施し、今後も、時間分散効果が得られやすい長期投資をサポートして参ります。



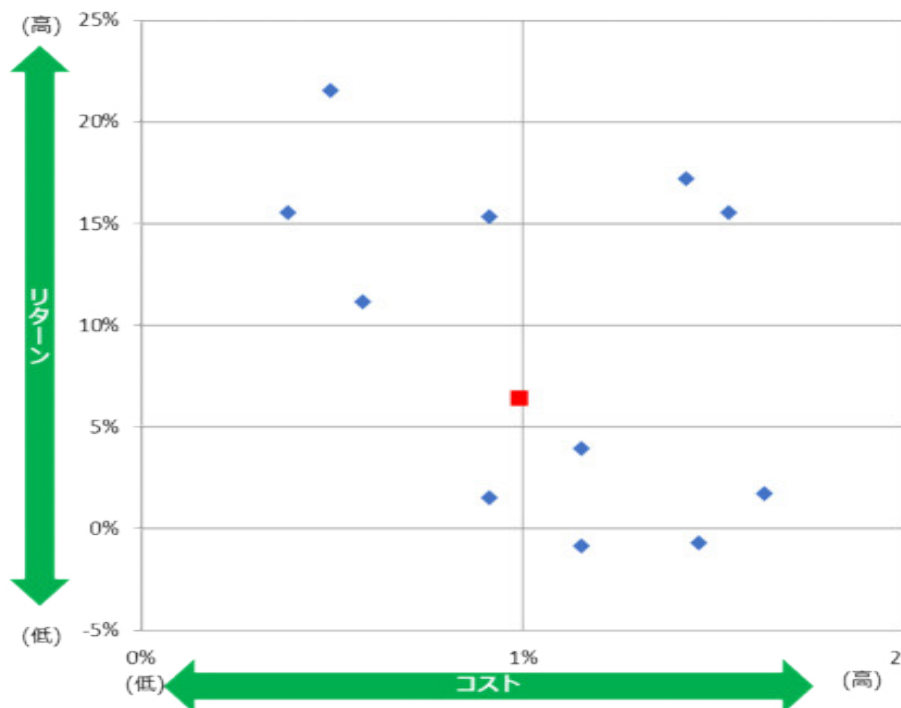


## Ⅱ.比較可能な共通K P I

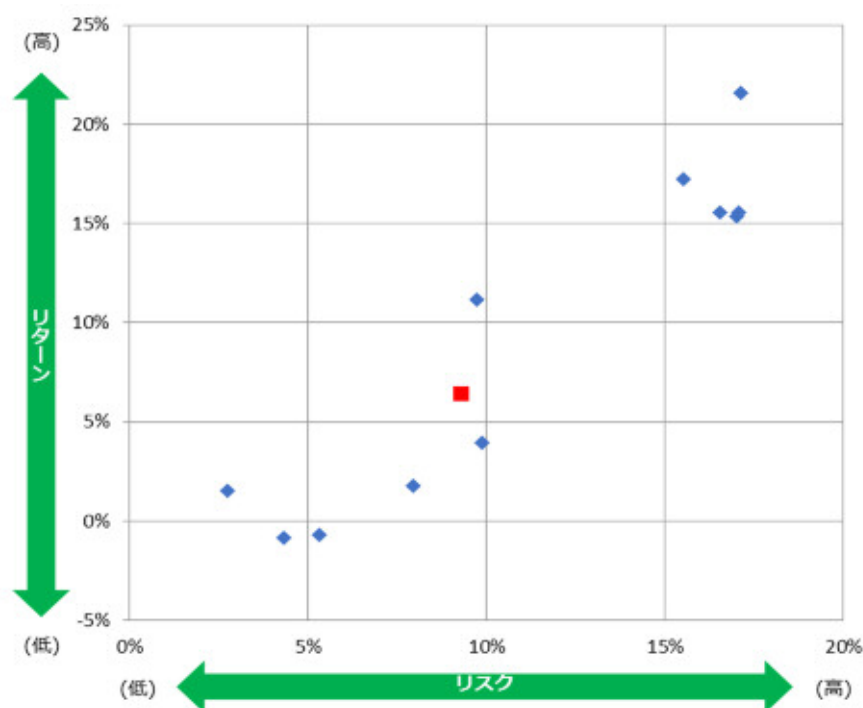
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/2) (2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.99%、平均リスク9.30%に対して、平均リターンは6.41%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



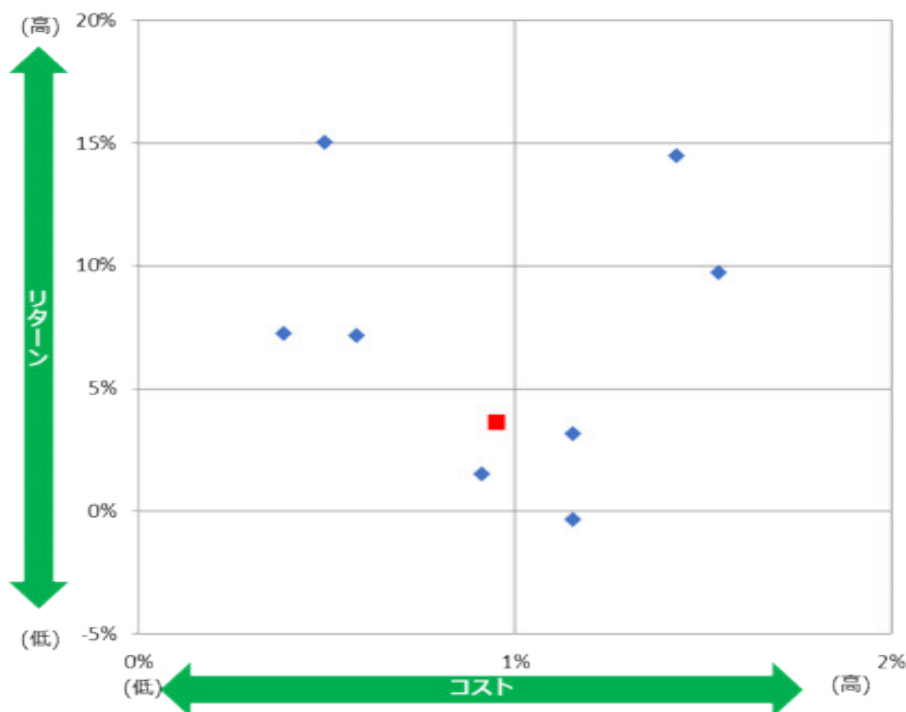
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

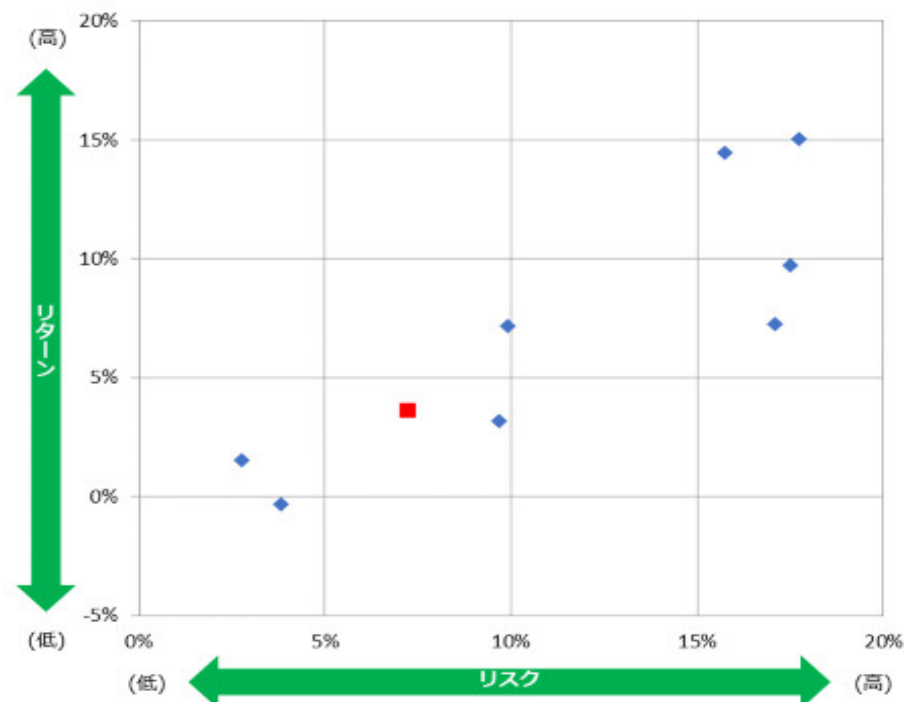
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/2) (2023年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.95%、平均リスク7.23%に対して、平均リターンは3.63%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/2) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
2	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.86%	4.33%	1.16%
3	Oneニッポン債権オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
4	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
5	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
9	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
10	グローバル・インカムフルコース(為替リスク軽減型)	三菱UFJアセットマネジメント(株)	-0.67%	5.31%	1.46%
11	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.41%	9.30%	0.99%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/2) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne (株)	1.52%	2.76%	0.91%
2	日米6資産分散ファンド <sup>※</sup> (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	-0.34%	3.81%	1.16%
3	日米6資産分散ファンド <sup>※</sup> (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.16%	9.68%	1.16%
4	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.05%	17.74%	0.50%
5	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.26%	17.10%	0.39%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	7.18%	9.92%	0.58%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	9.73%	17.50%	1.54%
8	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	14.48%	15.74%	1.43%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		3.63%	7.23%	0.95%

※ 2023年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は8本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。